

様々な困難に直面している子どもたちが安心して過ごせる環境整備へ貢献
「日本財団チャリティー自販機」を
当社グループの新松戸オフィスに設置いたしました

「未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく」をグループ理念に掲げ、全国に 3,300 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を展開する株式会社マツキヨココカラ & カンパニー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：松本清雄）は、当社グループが進めるサステナブル（持続可能）経営の実践に関する取り組みを以下の通りお知らせいたします。

このたび、すべての子供たちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供する公益財団法人 日本財団の事業に賛同し、日本財団チャリティー自販機を 7 台当社グループの新松戸オフィスに設置いたしました。

■日本財団チャリティー自販機について

自動販売機を利用する従業員やお取引先様、お客様に社会貢献や寄付を身近に感じてもらえるように飲料 1 本につき 10 円を社会貢献プロジェクトに寄付ができる自動販売機です。これまでに全国で 8,000 台以上が設置され、寄付に関しては、間接費を使わず 100%全額が「子ども第三の居場所」「災害復興支援特別基金」「海と日本プロジェクト」「HEROs」「難病児支援」「日本財団夢の奨学金」に活用されています。今回は、将来の自立に向けた社会貢献である「子ども第三の居場所」（子どもサポートプロジェクト）へ寄付することといたしました。

日本財団チャリティー自販機について

<https://www.nippon-foundation.or.jp/donation/charity>



■子ども第三の居場所について

「ご飯はおいしくないからいつもお菓子を食べる」、「夜遅くまでゲームをして疲れたら寝る」、「先生に何を聞いたらいいか分からない」、「家にいるとママに怒られる」食生活や生活リズムの乱れ、学習の遅れやネグレクト等、日本の子どもたちは今、様々な困難に直面しています。子どもたちの困難は家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそも困難が家庭や学校に起因する場合も少なくありません。日本財団は、子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む「子ども第三の居場所」を全国に設置しています。ここでは「生き抜く力」を育むために、小学校低学年のうちに食事や歯磨きといった基本的な生活習慣を整えた上で、自己肯定感や人や社会と関わる力などの非認知能力を高めるプログラムや、発達段階に応じた学習支援を実施しています。





●当社グループが本件により貢献する SDGs 目標



●当社グループの統合報告書 2022

https://www.matsukiyococokara.com/sustainability/integrated_report/

Find your “!””
wowa

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

3,300 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を中核事業として、全国で展開している東証プライム市場上場企業。子会社としてマツモトキヨシグループとココカラファイングループを擁し、「美と健康の分野でアジア No.1」の企業グループを目指しています。介護事業、インターネット通販事業など幅広く展開しています。

コーポレートサイト：<https://www.matsukiyococokara.com/>

株式会社マツキヨココカラ & カンパニー グループ経営企画統括 広報室

Tel : 03-6672-7808

mail : mkccpr@matsukiyococokara.com

